

寺津小学校だより

天童市立寺津小学校長 佐藤美和子

目指す子どもの姿

自他を大切に、 自分で考えてよりよいらしをつくることができる子ども

パートⅡ

梅雨の合間を縫って、水泳学習が始まりました。去年は少しだけ水泳学習に取り組むことができたものの、水に慣れていない子どもが多いと思います。でも、子供たちは歓声を上げながら、楽しく気持ちよくプールに入っています。無理せず、子供たちの力に合わせて学習を進めていきたいと思っています。

県のいじめアンケートへのご協力ありがとうございました。6月6日(火)の全校朝会で「いじめ」について、校長から話をしました。話の内容を抜粋して紹介します。

(略)

いじめとは、相手の体を傷つけたり、心を傷つけたりすることです。どんな理由があってもいじめは絶対にしてはいけません。

このことは「いじめ防止対策推進法」という国の法律というきまりで決められています。子供も大人もだれもが守らなければならないきまりです。なぜ、この決まりができたかという、悲しいことですが、いじめられた子供があまりに辛くて学校に来ることができなくなったり、命がなくなったりしたことが実際にあったからです。そういうことがなくなるように願ってこの法律ができました。この法律では、もう一つきまりがあります。それは、いじめとは「自分はいじめつもりは全くなくても、相手がいじめられたと思ったらそれはいじめをしたことになる」ということです。どうしてこのように決められているのかというと、この法律は一人一人を守るためにあるからです。いじめるといじめられる人とは、多くの場合はいじめられる人の方が弱い立場にあります。それに、自分は「たった1回しただけだ。」と言っても、それが10人の人がすれば、いじめられる人は10回いじめられたということになります。

みなさんは自分はいじめはしていないと思うかもしれませんが、相手が「あの言葉がいやだった。あの時されたことがいやだった。いじめられた。」と言え、いじめてしまったことになります。だから、みなさんがいじめをしないために気を付けなければならないことは何でしょう。「相手の気持ちを考えて行動する」ということです。みなさんは相手の気持ちって分かりますか。自分じゃないのだから、相手の気持ちは、普通は分かりませんよね。でも、もしかしたらこう思うかな？こう思ったかな？って考えることはできると思います。この「相手の気持ちを考えて行動する」ということがとても大切なのです。

寺津小学校でのみなさんのくらしを見ていると、友達の気持ちを考えてくらししているなあと思う場面がたくさんあります。でも、いじめがないとは思っていません。いじめの専門家の方はこんなことを言っています。「いじめは大人が気づかないところでおこっています。」どうして大人がいないところでおきるのか考えてみました。みなさんはまだ子供ですから、「相手の気持ちを考えて行動する」という力が十分に育っているとは言えない人もいます。それは学んでいる途中だからいいのです。みなさんは真面目ですから、先生やお家の人と一緒にいるときは気を付けて行動しようという気持ちが強くなります。でも、学校から帰るときのかえり道や、学童ではどうでしょう。土日に友達と遊ぶときはどうでしょう。学校でも、学校の外でも、みなさんのくらしはつながっていて、「相手の気持ちを考えて行動する」ということは続けなければなりません。また、大人がいても、たくさんの仲間が同じ場所で生活するときは、気を付けることがむずかしくなります。それぞれの考えが違って、けんかのようになることも多いかもしれません。でも、そういうときこそ、「相手の気持ちを考えて行動する力」を育てるチャンスなのです。

では、次にどうすれば「相手の気持ちを考えて行動する力」がつくかについて2つお話しします。

①一つ目は、「自分の気持ちをコントロールする力をつける」ということです。たくさんの人が集まってくらししていると、楽しいこともたくさんありますが、イライラしたり、怒りなくなったりすることがあると思います。その時に、誰かに暴力をふるったり、嫌な言葉を言ったり、ぶちぎれたりしないことです。イライラしたり、怒ったりする気持ちそのものは悪いことではありません。でも、それを人に暴力や嫌な言葉でぶつけることはよくないということです。相手がきずついてしまうからです。そうなりそうときに気持ちをクールダウンさせる力をつけてほしいです。

②もう一つは「言葉を大切にする」ということです。言っていけない言葉はたくさんあります。「死んでほしい」「キモイ」「バカ」「頭悪い」口癖のように言っている人はいませんか。友達に伝えたいことを伝えるのは大切なことです。どんな言

葉でどんな言い方で伝えるかが大事なのです。

この2つが今できなくてもいいのです。みなさんは、たくさんの仲間と一緒に暮らしている中で、少しずつ友達や周りの人との関わり方を学んでいきます。1年生と6年生とでも考える力は違います。私は大人ですが今でも、「あの言葉、言わないと良かったなあ。」と後悔するような失敗をすることがあります。「相手の気持ちを考えて行動する」ことは、大人でも難しいことです。だからこそ、みなさんには「よりよいことを考えてくらしをつけていく力をつけてほしい」と思っています。

来週、いじめについてのアンケートを書いてもらいます。これは、いじめをしている人を見つけるためではなく、もしもいじめられている人がいたらその人を守るためのアンケートです。(略)

アンケートの後に、担任の先生とお話する時間を全員取ります。アンケートに書いたからと言って、すぐに相手の人に注意するようなことはしません。書いた人にどうしたいかを聞きます。先生や、おうちの人を頼ること、困ったときに誰かに言えることはとっても大事な力です。担任の先生以外の先生に話してもいいです。嫌なことはあったけど、大丈夫だよと言う人は書かなくていいです。

最後に、1学期の始業式で私が言った言葉を覚えていますか。「自分で考えてよりよいくらしをつくることができる子ども」になってほしいと話しました。この「くらし」とは、学校も学童も家も全てです。今日はこれに加えて、「自分も相手も大切にして、自分で考えてよりよいくらしをつくることができる」ということを目指してほしいと思います。


今年の児童会目標は「あかるい笑顔のあいさつ」「元気な返事」ですね。これを目標にすることで、相手との関係がよくなるから大切にしているのではないですか。そうやって、相手のことを大切に考えられる寺津小学校の子供になってほしいと思います。(おわり)

成長途中の子供たちは、相手が嫌な思いをしているとは思わずに友達と関わっていることも多々あります。特に低学年の子供はまだ自分のことしか見えず、されたことについてはよく覚えているけれど、自分の行動について相手がどう思っているかまでは意識が向きにくいものです。中学年、高学年と学びを積み重ねていく中で、周りのことが見えるようになったり、その中で自分がどうふるまえばよいか分かるようになっていきます。毎日の生活の中で、もし子供が不快な状態になったとしても、いじわるや嫌がらせをして憂さ晴らしをするのではなく、自分の気持ちをコントロールしたり、ヘルプを出したりできるような力を育てていきたいと考えています。

また、学校では、考え方の違う多様な他者とうまく生きていける、一人一人の居場所がある学校をつくるということを目指しています。自分と考え方が違う人、みんなと同じことをするのが苦手な人を「だめだ。」と思うのではなく、みんなが居心地よく生活できるように折り合いをつけていく、そのことを大切な学びとしていくことを、教職員間でも、子供とも、根気強く確かめていきたいと考えています。

気になることがある時は、アンケート期間でなくとも、いつでもご連絡くださいますようお願いいたします。

7・8月の主な予定

○7/1 (土) 生活リズムチャレンジ週間 (~7/7)	○7/21 (金) 水泳授業参観	
○7/3 (月) 通学班長会	○7/24 (月) 着衣水泳 (6年)	
○7/4 (火) 高学年音楽鑑賞教室 小体連水泳指導 (3・4年)	○7/25 (火) 授業区切り	
○7/6 (木) 学校諸会費振替日	○7/26 (水) 夏季休業開始	
○7/7 (金) 4年校外学習 (三郷堰見学)	○7/27 (木) 28(金) 31(月) 個人面談	
○7/12 (水) ~14(金) 宿泊体験学習 (4・5年)	○8/10 (木) ~16(水) 学校閉庁	
○7/18 (火) 第1回学校評議員会	○8/23 (水) 授業再開	
○7/19 (水) はげみ学習	○8/24 (木) 夏休み研究・工作発表会 4・6年	
○7/20 (木) プラネタリウム学習(4年)	○8/25 (金) 夏休み研究・工作発表会 5年	
	○8/29 (火) 夏休み研究・工作発表会 3年	
	○8/31 (木) 夏休み研究・工作発表会 1・2年	